

小北北に
流氷届く

北の使者に大喜び



興味津々で流氷に触る児童たち

A会長が、北海道の団体がボランティアで流氷のプレゼントを行っていることを知り応募。全国三十力所の一つに選ばれた。

流氷は二月二十二日に取れた約七キロで、二十八日同校に届いた。児童たちは学習会で、流氷の一生や地球温暖化で流氷が年々少なくなっていることなどを学んだ。

この後流氷が公開され、子供も親も塊を手にとって重さや冷たさを体感、「こんなものが海を流れているのか」などと驚いた様子だった。四年の大村裕加さん（〇）は「流氷は冷たくて重い。普通の氷とは全然違う感じがします」と話した。

大隅町の小北小学校に、北海道のオホーツク海で採取された流氷が届いた。児童や親ら約七十人が同校体育館に集まり、珍しい「北からの使者」を眺めたり触ったり大喜びだった。同校の伊地知明雄PT

見を交わす参加者ら

「子どもは「子ども」を基準とす。お年寄り流氷できる場

「遊ぶ」「地域このアンケートに意見を交

二月二十七町のPTA団体代表、町

約八十人が参

中遊びた

「遊ぶ」「地域

「から」を語りたい

「利用」を主眼

